



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 日本システム技術株式会社

上場取引所 東

コード番号 4323 URL <http://www.jast.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 平林 武昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長

(氏名) 大門 紀章

四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日

TEL 06-4560-1000

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,043	△2.1	△56	—	△41	—	△38	—
23年3月期第1四半期	2,087	△16.4	△91	—	△59	—	△52	—

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 △37百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益 円 銭	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益	
		円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△8.19	—	—
23年3月期第1四半期	△11.08	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭
24年3月期第1四半期	7,469	4,208	55.9	881.28
23年3月期	7,846	4,362	55.2	913.78

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 4,176百万円 23年3月期 4,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末 円 銭	第2四半期末 円 銭	第3四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,588	15.4	△72	—	△58	—	△95	—	△20.05
通期	10,000	11.2	400	89.4	420	58.8	220	1.4	46.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	5,103,230 株	23年3月期	5,103,230 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	364,077 株	23年3月期	364,077 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	4,739,153 株	23年3月期1Q	4,739,153 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の数値はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましてはP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 繼続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9
5. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における、当社及び連結子会社からなる企業集団（以下「当社グループ」といいます。）の業績は、売上高20億43百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失56百万円（前年同期は営業損失91百万円）、経常損失41百万円（前年同期は経常損失59百万円）、四半期純損失38百万円（前年同期は四半期純損失52百万円）となりました。この値は、前年第1四半期業績との比較では、売上高は微減であるものの利益指標は改善が見られ、概ね当初計画に沿った推移と判断しております。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業（受注ソフトウェアの個別受託開発）につきましては、サービス・流通業及び製造業向け案件は減少いたしましたが、通信、教育機関及び官公庁向け案件が増加し、売上高13億9百万円（前年同期比11.0%増）、営業損失24百万円（前年同期は営業損失93百万円）の増収増益となりました。

次に、パッケージ事業（学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス）につきましては、売上高3億90百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益63百万円（同6.9%減）と、大学向けPP（プログラム・プロダクト）販売、仕入販売及び保守は堅調であった一方で、EUC（End User Computing：パッケージの周辺システムの受託開発）及び導入支援が減少したことにより、減収減益となりました。

最後に、システム販売事業（IT機器の販売及び情報通信インフラの構築）につきましては、公共系SI（システム・インテグレーション）案件は増加いたしましたが、大学向け機器販売が減少し、売上高3億43百万円（前年同期比28.9%減）、営業損失39百万円（前年同期は営業損失19百万円）の減収減益となりました。

（当社グループの四半期業績の特性）

当社グループの事業であるソフトウェアの受託開発及びパッケージ並びにシステム機器販売の特性といしましては、顧客の検収時期が多く企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期会計期間の収益は、第2、第4四半期会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び資本の状況

まず、流動資産の残高は61億1百万円（前連結会計年度末比3億49百万円の減）となりました。これは主として、前年度末の売上案件の入金に伴う売掛金の減少並びに期中の現預金の増加等の増減の結果であります。また、固定資産の残高は13億67百万円（同26百万円の減）となりました。これは主として、のれんの償却による減少であります。

次に、流動負債の残高は20億44百万円（同2億21百万円の減）となりました。これは主として、短期借入金の返済及び仕入に係る買掛金の減少並びに前受金増加等の増減の結果であります。また、固定負債の残高は12億16百万円（同0.7百万円の減）となりました。

最後に、純資産の合計残高は42億8百万円（同1億54百万円の減）となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の状況は、期首の資金残高24億20百万円より1億18百万円増加し、25億39百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、6億86百万円の収入（前第1四半期連結累計期間は3億72百万円の収入）となりました。この差額は主として、たな卸資産の増加、法人税等の支払額の増加、売上債権の減少及び仕入債務の減少の差引きによる結果であります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、1億83百万円の支出（同3百万円の支出）となりました。この差額は主として、定期預金への預入れによるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、3億83百万円の支出（同1億64百万円の支出）となりました。この差額は主として、短期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及びこれに伴って発生した福島第一原子力発電所事故、電力供給不足等による影響が未だ不透明であり、経済の先行きは予断を許さない状況にあります。

情報サービス業につきましては、最新の統計において、売上高の前年同月比が5.8%減（経済産業省の特定サービス産業動態統計、平成23年5月度確報）となっており、平成21年6月以降24カ月連続でマイナスとなる等、企業の情報投資への意欲は戻ってきておらず、依然として受注競争の激化並びに販売価格の低下等、各社にとって困難な環境は続くと考えております。

このように、足元はまだまだ厳しい状況ですが、当社グループにおきましては、年度当初に掲げた重点施策を着実に実行し、業績計画の達成を図りたく考えております。なお、事業別には以下のとおりとなっております。

まず、主力のソフトウェア事業においては、金融、通信、サービス・流通、製造業等、主力産業別の収益基盤を再建し、業績の再拡大を確実なものにするべく、さらなる受注の取り込み並びに最大収益を追求するための組織再編を実施いたしました。また、現在取り組んでおります新ビジネスの研究開発投資をより強力に推進し、新たな収益の柱を築くことに引き続き注力してまいります。

次に、パッケージ事業においては、大規模市場である関東圏及び関西圏にそれぞれ事業部を設置し、各地域に密着して強力にシェア拡大を図るための組織再編を実施いたしました。これら事業部では、バージョンアップによる製品機能の充実、サポート組織の強化による顧客サービスの向上、有力企業とのアライアンスによる販売力強化等の施策を引き続き実行するとともに、次世代ビジネス構想の具体化にも着手し、学校業務改革パッケージ「GAKUEN」を、文教市場において圧倒的ブランドとして広く認められるよう取り組んでまいります。

最後に、システム販売事業につきましては、回復の兆しのある文教系及び公共系市場向けS Iビジネス案件を確実に受注に結び付けるため、市場別に組織再編を実施いたしました。また、公共系案件について新規市場への取り組みを進め、新たな収益基盤を確立し、中長期的に安定した業績向上に繋げる所存です。

これらを踏まえ、平成24年3月期の連結業績予想は、平成23年5月11日付の当初発表どおり、売上高100億円（前連結会計年度比11.2%増）、営業利益4億円（同89.4%増）、経常利益4億20百万円（同58.8%増）、当期純利益2億20百万円（同1.4%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,750,721	4,064,689
受取手形及び売掛金	2,096,402	1,329,811
商品及び製品	118,169	47,548
仕掛品	184,039	306,592
原材料及び貯蔵品	2,747	3,547
繰延税金資産	210,598	277,760
その他	92,878	73,967
貸倒引当金	△4,242	△2,366
流動資産合計	6,451,315	6,101,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	378,168	378,168
減価償却累計額	△259,221	△262,066
建物及び構築物（純額）	118,947	116,102
土地	142,361	142,361
その他	169,747	170,749
減価償却累計額	△138,390	△141,987
その他（純額）	31,356	28,761
有形固定資産合計	292,665	287,225
無形固定資産		
のれん	32,866	16,433
ソフトウェア	28,568	26,582
その他	6,818	6,818
無形固定資産合計	68,253	49,834
投資その他の資産		
投資有価証券	197,202	201,339
長期貸付金	2,694	2,694
繰延税金資産	261,015	259,479
差入保証金	240,290	257,095
前払年金費用	143,183	138,617
その他	240,631	222,859
貸倒引当金	△51,202	△51,202
投資その他の資産合計	1,033,815	1,030,882
固定資産合計	1,394,734	1,367,943
資産合計	7,846,050	7,469,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	580,342	366,452
短期借入金	598,406	382,787
1年内返済予定の長期借入金	90,000	45,000
未払法人税等	189,006	71,373
賞与引当金	403,476	195,705
役員賞与引当金	13,548	5,127
その他	391,298	978,476
流動負債合計	2,266,079	2,044,922
固定負債		
退職給付引当金	815,771	810,416
役員退職慰労引当金	348,692	353,713
繰延税金負債	578	—
その他	52,071	52,270
固定負債合計	1,217,113	1,216,400
負債合計	3,483,192	3,261,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,687	917,687
資本剰余金	879,325	879,325
利益剰余金	2,798,435	2,641,123
自己株式	△266,460	△266,494
株主資本合計	4,328,988	4,171,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,621	13,811
為替換算調整勘定	△10,055	△9,925
その他の包括利益累計額合計	1,566	3,885
新株予約権	—	1,010
少數株主持分	32,303	31,633
純資産合計	4,362,858	4,208,171
負債純資産合計	7,846,050	7,469,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,087,066	2,043,723
売上原価	1,709,831	1,642,052
売上総利益	377,235	401,671
販売費及び一般管理費	468,640	458,542
営業損失(△)	△91,404	△56,871
営業外収益		
受取利息	1,716	2,447
受取配当金	2,142	2,153
受取賃貸料	5,375	5,430
助成金収入	2,430	—
保険解約返戻金	19,217	12,048
その他	4,633	2,572
営業外収益合計	35,515	24,652
営業外費用		
支払利息	1,121	1,554
賃貸費用	2,366	2,370
新株予約権発行費	—	5,084
その他	166	259
営業外費用合計	3,655	9,268
経常損失(△)	△59,544	△41,487
特別利益		
賞与引当金戻入額	38,837	—
貸倒引当金戻入額	1,940	—
特別利益合計	40,777	—
特別損失		
投資有価証券評価損	140	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,155	—
特別損失合計	20,295	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,062	△41,487
法人税等	14,808	△1,497
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53,870	△39,989
少数株主損失(△)	△1,348	△1,156
四半期純損失(△)	△52,522	△38,833

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△53,870	△39,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,578	2,189
為替換算調整勘定	3,124	615
その他の包括利益合計	△453	2,805
四半期包括利益	△54,324	△37,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,581	△36,513
少数株主に係る四半期包括利益	257	△670

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△39,062	△41,487
減価償却費	7,758	7,232
ソフトウエア償却費	2,362	2,404
のれん償却額	16,433	16,433
賞与引当金の増減額（△は減少）	△170,658	△207,770
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10,427	△5,354
前払年金費用の増減額（△は増加）	—	4,565
受取利息及び受取配当金	△3,858	△4,600
支払利息	1,121	1,554
新株予約権発行費	—	5,084
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,155	—
売上債権の増減額（△は増加）	321,889	765,328
前受金の増減額（△は減少）	145,462	210,628
たな卸資産の増減額（△は増加）	95,852	△52,605
仕入債務の増減額（△は減少）	△304,444	△214,010
その他	353,371	374,983
小計	456,810	862,384
利息及び配当金の受取額	4,130	3,581
利息の支払額	△1,665	△1,140
法人税等の支払額	△86,780	△178,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,494	686,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△21,577	△194,454
有形固定資産の取得による支出	△5,245	△744
保険積立金の取崩による収入	28,603	29,441
差入保証金の差入による支出	△536	△17,156
その他	△4,903	△1,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,657	△183,979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△637	△216,399
長期借入金の返済による支出	△45,000	△45,000
新株予約権の発行による支出	—	△4,074
配当金の支払額	△118,478	△118,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,115	△383,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,404	32
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	206,124	118,772
現金及び現金同等物の期首残高	2,042,064	2,420,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,248,189	2,539,078

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	1,179,195	424,380	483,490	2,087,066	—	2,087,066
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	4,899	4,899	△4,899	—
計	1,179,195	424,380	488,390	2,091,966	△4,899	2,087,066
セグメント利益又は損失 (△)	△93,772	68,240	△19,785	△45,317	△46,087	△91,404

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△46,087千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	1,309,053	390,574	343,947	2,043,574	148	2,043,723
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	7,358	7,358	△7,358	—
計	1,309,053	390,574	351,306	2,050,933	△7,210	2,043,723
セグメント利益又は損失 (△)	△24,962	63,550	△39,037	△449	△56,421	△56,871

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△56,421千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	1,097,321	106.3
パッケージ事業 (千円)	239,791	89.9
システム販売事業 (千円)	294,057	71.6
その他 (千円)	10,882	—
合計 (千円)	1,642,052	96.0

(注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	745,978	47.3	1,073,153	75.9
パッケージ事業 (千円)	465,670	128.8	763,987	127.8
システム販売事業 (千円)	465,703	93.8	230,632	46.4
その他 (千円)	808	—	731	—
合計 (千円)	1,678,161	68.9	2,068,504	82.4

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	1,309,053	111.0
パッケージ事業 (千円)	390,574	92.0
システム販売事業 (千円)	343,947	71.1
その他 (千円)	148	—
合計 (千円)	2,043,723	97.9

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱	217,805	10.4	264,531	12.9
㈱ダスキン	184,465	8.8	213,391	10.4
㈱エヌ・ティ・ティ・データ関西	27,774	1.3	133,945	6.6

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。